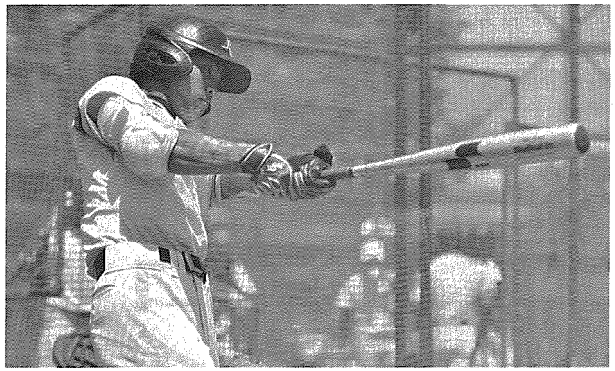
２０１６年（平成２８年）８月１３日　土曜日
デーリー東北新聞　１０面　掲載

第98回 全国高校野球選手権大会 ▼第6日

甲子園 光星あす東邦戦

打撃練習 みっちり



打撃練習に汗を流す伊藤優平＝12日、兵庫県西宮市の津門野球場

第98回全国高校野球選手権大会の2回戦（14日第3試合）で東邦（愛知）と対戦する八学光星は12日、兵庫県西宮市の津門野球場で練習した。前日と同様、守備の後、相手投手を想定した打撃を中心に、午前11時から約2時間にわたり汗を流した。

東邦の初戦で先発した左腕のスライダーを想定したマシン打撃のほか、安藤顕二らも近距離打撃の投手に加わり、相手の本格派右腕にも備えた。一方の投手陣は、主戦の櫻井一樹が10球ほど投げるなど軽めの調整だった。

仲井宗基監督がキーマンに挙げる1番打者伊藤優平は相手主戦右腕について「映像を見た限り、ボールが浮くときがある。直球、変化球のどちらか、どのコースを打つか絞りたい」と話した。1回戦で十分に生かせなかった走力については「塁に出たら、走者として相手を揺さぶりたい」と意気込んだ。（林泰輔）

両監督 かく戦う

大会第８日の14日、２回戦で対戦する八学光星と東邦。チームの状態や相手の印象、戦い方などを、光星の仲井宗基監督、東邦の森田泰弘監督に聞いた。（聞き手・林泰輔）

光星・仲井宗基監督

伊藤の出塁が鍵握る

―東邦の印象は。

優勝候補。藤嶋（健人）君を中心に鍛えられている。投打の中心の藤嶋君の（彦）君もいて、機動力も使ってくる。

―警戒する選手は。

もちろん藤嶋君、松山君の投手。両エースをしっかり攻略しなければいけない。ただ誰というよりも、森田泰弘監督の野球にのまれないようにしたい。

―試合の鍵を握る選手は。

ほか、左のエース松山（仁得）君もいて、機動力も使ってくる。投打の中心の藤嶋君の（彦）君もいて、機動力も使ってくる。

―警戒する選手は。

もちろん藤嶋君、松山君の投手。両エースをしっかり攻略しなければいけない。ただ誰というよりも、森田泰弘監督の野球にのまれないようにしたい。

―試合の鍵を握る選手は。

1回戦は15安打したが、得点は5点にとどまった。それは県大会で攻撃を引っ張っていた伊藤（優平）がいまいち出塁できていなかったから。本来の力を発揮し塁に出ていれば、もっと違う展開になっていた。

―2回戦に向けて。

ここが目標ではない。東邦は強いチームだが、その伝統と名前に負けないよう、自分たちの実力を100パーセント発揮して最後まで粘り強く戦いたい。

東邦・森田泰弘監督

ロースコアの接戦に

―光星の印象は。

いい選手がそろっている。攻守にレベルが高く安定感がある。エースの櫻井（一樹）君は制球が良く、3球あれば追い込まれてしまう。1、2球目をしっかり打ちにいきたい。

―警戒する選手は。

1番（伊藤優平）と3番（田城飛翔）は好打者で、4番（益田敦成）と5番（花岡小次郎）はパワフル。うちよりもいい選手がそろっている。

―理想の試合展開は。

ロースコアの接戦に持ち込みたい。打ち合いなら負ける。1回戦はまぐれで恐に当たったが、恐らくそんなに打てない。4番の藤嶋（健人）にチャンスで回って1発出ればいい。

―光星打線を抑えるためには。

高めは的確に捉えてくる。低めにボールを集めて、両サイドのコースをいかに的確に投げ分けられるか。展開次第で継投も考える。

甲子園だより

⑨田城飛翔（３年）＝神奈川・大住

いいスイングしたい

1回戦でホームランを打つことができましたが、まぐれです。低く強い打球を打てるのが自分の強みなので、ホームランは狙わずに、いいスイングができるようにしたい。

練習後の空いた時間には、テレビでほかの高校の試合を見ています。八王子（西東京）や日南学園（宮崎）、横浜（神奈川）に友人がいます。

初戦に勝ったときはみんなから「おめでとう」と、祝福のメールがたくさん来ました。

みんなそれぞれのチームで頑張っているので、自分も負けないように頑張ります。

主戦藤嶋 投げ込み 東邦

光星と対戦する東邦は12日の午前10時から約2時間、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場で調整した。

練習はノックからスタート。森田泰弘監督の指導を受けながら、ナインは黙々と打球を処理していた。その後は近距離から右投手が投げる直球やスローボールで打撃練習したほか、マシンでも打ち込み、各打者が快音を響かせた。

初戦は登板のなかった主戦右腕藤嶋健人は、森田監督の見守る中、約35球を投げ込んだ。練習後には「本格的に投げたのは2週間ぶり。試合までに調整したい」と話し、光星打線について「1、3番はいい打者。失点しないよう、一つ一つのアウトをしっかり積み重ねたい」と伊藤優平、田城飛翔を警戒した。

光星主戦の櫻井一樹に関し「変化球が多彩で、どの球種も内外に投げ分けてストライクが取れる」と印象を語り、「狙い球を絞りたい」と打撃でのポイントを挙げた。（林泰輔）

デーリー東北新聞社提供